の

故障の時

自機式電話では一般の電局用電話を呼ぶ時

電話に依る通話は必ずし も大きい藤を必要としない もので相當小さい醛でも相 手方に充分通じるものです 矢鱈に大醛ですと却つて通 が觸れる程度の距離で靜か にお話しになつて不必要な 大離は強しない様に氣を付 て下さい。

利害 定本 全古 假题 m # 6 H # 67 設行所 新京日日新聞社 ・ 新京日日新聞社 ・ 大和 波 傑 忠 人 小越 内 之 介 二一十一 門門 五 黃 五 十十 黃 娥 錢門

野立するあり外ノ聯の西北 野立するあり中央軍と雲南軍の するるの中央軍に支那事變あり老 大民國は地域五分の二を失 つてまだ聖戦の意義に目覺 あず内は中共の獨立を畫策 するあり中央軍と雲南軍の するあり中央軍と雲南軍の するあり中央軍と雲南軍の は地域五分の二を失

するとはいふもので なつて居り東京の質 なつて居り東京の質 なって民の至言を生んだ。 大のようけ物と見るべ をボログソに言ふ があいまりは有るがよ よりは有るがよ よりは有るがよ たとも無いより たとも無いより たとも無いより たとも無いより

清髙

酒級

官吏制度改艺

緊急を要し

浪

安 2

Ξ 二六 五一 0

「黨機關 延安政府の勢力増大

高 諸地方に擴げ國民黨漸次蠶 食しつゝあり、その結果國 共兩勢力の拮抗する境界地 が絶えず特に陝北方面にあ が絶えず特に陝北方面にあ を以て明年度豫算の編成を 一月十一日に繰上げる方針 ・ 一月十一日に繰上げる方針 【東京國通】政府は前内閣 休會明期日 繰上げは困難

常子に富る十二月二日より ・ も六日も遅れ八日に至つて ・ も六日も遅れ八日に至つて ・ も六日も遅れ八日に至つて ・ 本子日も遅れ八日に至つて ・ 本子日も遅れ八日に至つて ・ 本子日も遅れ八日に至つて ・ 本子日も遅れ八日に至つて ・ 本子日も遅れ八日に至って ・ 本子日も遅れ八日に至って ・ なが明かとなった、依つて ・ なが明かとなった、依つて ・ なが明かとなった、依つて ・ なが明かとなった、依つて ・ なが明かとなった。依つて ・ なが明かとなった。依つて ・ なが明かとなった。依つて ・ なが明かとなった。依つて ・ なが明かとなった。なって ・ ながらいる。

北米沿岸の防備を強化しつ つあるがルーズヴェルト大 総領は九日カリピア海のア エルト・リコ島サン・ジュア ンに特別海軍區司令部を設 置すべく命令を發した、右 海軍區は第十海軍區と命名 され明年一月一日より活動 を開始するはずである

のること×ならう に表に對しその旨諒解を求 に表に對しその旨諒解を求

米、特別海軍區 司令部設置

ムミュ

米國政府は歐洲職争に備へ 如く發表せられたり

成みた【寫價は秋田

官吏制度の改革として離れ、官吏制度の改革として離れ以外に特別任用の問題がある。ことは勿論であるが、官吏制度の改革はこが、官吏制度の改革はこが、官吏制度の改革はこがありための必要として離れている。

別方面より人材を得られるとは考へられない、人るとは考へられない、人をはなくその他の方面はなく発言を関連して、という。 はなく発言を関する。 はなくその他の方面に原因するを関連して、とした。 はなくその他のみ居るとはなくその他の方面ではなく疑さを要する。 はなくその他のみ居るともある。 ではなくその他のみ居るとは原因するをのではなくとののではなくその他の方面ではない。 はなく発言を関する更にの他の方面ではない。 は、とに所因するを関する。 はなくその他の方面ではなくその他の方面で、としる。 は、とした。 は、とし

同间

が治一氏(國華エム)同計作氏(木材高)同計作氏(木材高)同 高真維氏(會社員)同 京正氏(國華ゴム)同 京正氏(國華ゴム)同 京正氏(村木高)変 氏(建築業)同(官更)同

01

次回會議は康德六年十二月十一九日午前十一時より日滿側久保

催せらるべし 震主宰の下に開催せられ會議規則を審議決定し午後六 議皇國境測定混成委員會第二回會議はテタ市に於て康 議会

我に組して遠野に與ふるの書 形に組して遠野たれ。 ・

らう、改むるに憚るなか補ふる蔣に何んの未練が

た、ガラ場の不正。 ・横取りをしてゐた奴が も買はぬ奴には

加何なる情置 京を積は九月廿 に強い海を は實に歳烈な に強い海を はでは、 は強に歳烈な が海を はでは、 は変に、 はずに、 福賞を出帆、ニー日雑貨や大 コー日雑貨や大 拿捕令に抗議 英の獨貨

九(八三六〇トン)はドイ ・ 型製の機械類を満載十日オ ・ 型製の機械類を満載十日オ ・ 型製の機械類を満載十日オ ・ で ・ のロッテルダムから ・ は ・ のロッテルダムから ・ が ・ ののの ・ のの ・ のの。 ・ のの。 ・ のの ・ のの。 ・ ののの。 ・ のの。 ・ のの。 ・ ののの。 ・ のの。 ・ ののの。 ・ のの。 ・ の。 ・ のの。 ・ のの。 ・ のの。 ・ のの。 ・ のの。 ・ のの。 ・ の。 ・ のの。 ・ の。 ・ のの。 ・ の。 ・

信に関る重大事であると共 信に関る重大事であると共 に日本の意氣を示す上から 成行を注目されてゐたが、 十日午後同船から大阪商船 本社へ「総合により延期し 十三日斷乎出發する」旨の 一大電がありその決意の頼母

数なので英國政府が果

大阪商船山陽

藤 民

空電話の話

が、然し電話 で常に廻さな で常に廻さな

紐の傷が早

通話の案内(一〇三番) に付いての申告(一一)電話交換に関する申一〇七番)市外通話の (一〇〇番)日本との (一〇〇番)日本との にダイヤルを三数字だけ廻 して戴けばよい仕組になつ て居り見この三数字番號へ の通話は料金は戴かないこ とになつて居ります。以上 で電話の掛方は終りますが 序に公衆電話の掛け方を簡 単に御説明申上ます。

下サイ」と言はれたら野 ををお入れ下さい。 から、一時間が一半金叉する事は と同から、一時間が一半金叉する事は を変換係員が一半金叉する事は を変換係員が一半金叉する事は をでたら直になりますが、 で変換係員が一半金叉する事は をできずるのです。 はなったら質が を関係したなりますが、 で変換係員が「料金叉する事は をしたでする事は をできずるのです。 のでする事は をできる事は をできる事な をできる。 をできる事な をできる。 をできる事な をできる。 をでをできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をできる。 をでき

同同

保温・耐久力共に吟味檢討の優良毛布を5,000枚限り歳末特別廉價提供

良毛シャツ均

特撰の優良毛シャツを大量に獨自の均一破格奉仕

3圓50。3圓90。4圓50。5圓均一(天

五階ギャラリー

無 櫻

新京 櫻屋商店

·9日 5 15日 吉

◆ 毛シャツ 5圓。6圓,6圓50。7圓,7圓50。8圓。9圓均一 (xポン下同位)

察廳と打合せ

護除撃詰所へ届け出た 対布を何者かに綯られて響 財布を何者かに綯られて響

十日午前十時頃大馬路二十 空泉狙ひ捕る

大子園) 一着(六十園) 一着(六十園) 一個(二十國) 一個(二十國) 一個(二十國) 一個(二十國) 一個(二十國)

貧民彰金を

猪之輔氏逝去

農業路三中井前
業致します
す明十二日十三日店内改裝の爲休
毎度御引立に預り難有御禮中上ま

豊

箕田さん美擧

過思はしからず十月廿七日柳町三の自宅にて加擦中經

二、吉野アバート七號、山田迄一下さい面會日御通知致します宛名左記へ豐樂路四○レデスター募集未入來談叉は耀艦書寫眞同封御送りレデスター募集未入來談叉は耀艦書寫眞同封御送り

大連病院に入院經過良好で

今後の捜査方針

の成行重大視

驛で掏らる

大臣の名を以て大の大臣の名を以て大の大臣の名を以て大のたら治安部が各省またつたものを一元的たった。 は治安部で は治安部で は治安部で は治安部に は治安部で 源泉して居り、第一及 第一及 虚中であるが取政へ 修はその顧現結實を のとされてゐる、な のとされてゐる、な

め今日率先治安部がこれを 制定したことは實に劇想的 る、これに付き治安部では のみをまづ優令したの であるが、日本内地の饗祭 にもからした一元的に統一 された警察綱領は確立して

十二日終日十三日は午前中東ましい、尚弔旗の横に觸れぬごとが庸自滅の掟に觸れぬごとがない。忘れても腕線自 部交長は語るから、これにつき薄田治安 で取るを単純なないこれにつき薄田治安をで、一般民衆もにがは、世を響動である。 で取るを単純なないだらうといえのではである。 でのでを単純なないだらうといえのではである。 でのでを変がある。これならはである。 を変がある。これならはである。 ののであるがある。これならはである。 ののではないたので慎重なといえのではである。 を変がしているのでは重なといるのではである。 を変にしたさいだらいるのではである。

は

部では全國警察官吏の 警察綱領

を行ひ、翌十三日午前十一夜を行ひ、翌十三日午前十一夜を行ひ、翌十三日午前十一日國都ではダンスホール、日國都ではダンスホール、中国は保護、カフェー、中国は保護・カフェー、中国は保護・カフェー、中国は保護・大阪の関係を対している。

ラ場不正事件俄然

急

清津發二〇

四列

9

なば浩

八車早やからず

又滿人街開展の和順區に對 生配事務も取扱ふ和順郵政ン はに中央局から分離した は中央局から分離した

設して業務を開始すること

富田興銀總裁

三時

間

中央觀象豪 と市民にお寒い豫報を興へ

| 古力小屋より競火、同倉庫 | 「京五・條・道・火・事 | 「東五・條・道・火・事 | 中七古物務三河屋商店藤井 | 十七古物務三河屋商店藤井 | 七古物務三河屋商店藤井 | 佐理中突然電線がスパーク | に居住する河北生れ平鳳來 | に居住する河北生れ平鳳本 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土土 | に居住する河北土土 | に居住する河北土土土 | に居住する | に居

大分縣人會員に告ぐ

電話③五三一五番~

古川 法力小屋及び隣家を半焼同 大時四十分鎮火したが - 損害は同倉庫内の宏瓶、 古紙等 (二千五百四) 及び馬・頭 (二千五百四回) 及び馬・頭 (二千五百四回)

口事務を収扱ふ外

今般大分縣下の豊州新報社員と確する藤澤清大郎 なる者来稿、率天、新京(新京支局は三笠町三笠旅館内に置き駐在員なし)に支局を設置し尚同人が今夏太分情報社、大分縣人活躍誌刊行のためとて縣人を訪問し居たるも共の際は物にならす其儘新洲を引上げたるに再度来滿當地にて一厘の寄附も後接もせり上げたるに再度来滿當地にて一厘の寄附も後接を掛しため小生の事を云々し大分縣人活躍誌刊会員技に建告するものなり。 康徳、六月十三月十日 東徳、六月十三月十日 大分縣人會副會長

選行中のため氣點傾度も かなり急となつてゐます から愈々本物の寒さが訪 れるでせう

なり満映前郵政局を新設、 な新京市内から飛び離れた 不便な地域にある満映本社 ででの代用官舎並特殊會社 の利便を圖る爲めに十一日 とり満映前郵政局を新設。 家に貰われ度し 男子・生後二十日間血統正し愛兒

P

さの寒さは零下廿二十二度

今冬の最低記錄

局續々開設

新市街地の郵政

早速救済事業費として手續を本社に依託した、本社で

景品付 御正月用吳服 價 大 賣

出

1 屋 3

電③六六五六

從事員募集

一、各種商品の取扱に經驗の有る方一、小學校中等學校卒業者(出五歳以下) 、保安係員 任なる方

滿鐵社員消費組合應務係

電話(き) 五寸!!!番

男女を不問 、男女を不問 、年齢四十歳位迄 、年齢四十歳位迄 大經路一八號(帝キネ奏) 大經路一八號(帝キネ奏) 「京、旅館下宿」組合 電話(2)、二五九六番

事務員募集

イ 右は町會役員の手許に用意致しあります点ら町内の・日本人各世帶主は(但軍人軍屬を除く)。此標主名及御家族又は同居人(日本人に限る)の姓名年齢を明記したる表を役員の手許に提出のよう題中込書を受け糯米販賣業者又は併製造業者へ下二月で五日限り間申込下さい。

サモワ 3

に引致取調べを行つてゐる 後二時車刑事に依つて本署

七キロ学の称に九キロの録 頃商賣をはじめると▼も になると▼も 行した、右は鐡道北居住東二條通派出所員が磯見

 「多来りなばれ車早からた寒さと共に早くも始まった、十一日午前七時五十二 分新京斎の筈の清津設二〇 大寒さと共に早くも始まった、十一日午前七時五十二 分類京斎の筈の清津設二〇 大変され、その前を一一時間以上の大遅延で午前十一時間以上の大遅延で午前十一時間以上の大遅延で午日は一時間以上の大遅延で十日は一時間四遅延を 10 にこの 五十分形至一時間の遅延を 10 にこの 1 に 三時間除の本年度レコード を出したものである 識

加藤葬儀社

五九八一卷

享年五十二十十分急逝した、日午後九時十分急逝した、 オ 貸 家 右御希望の方は電話®三九二四番 一、間 數 三室位迄 田鍼灸院

目科業營 其他材料一 備 敷 疊 養 後

新京曙町三丁月十八番地 兒玉疊商店 電話るニニ九〇番

街カフェー・サード日午前窓時三 同都南寮居住宇野正CI-U) 電業技術課工務係、東光胡 電業技術課工務係、東光胡

上作會

曜火)

大井橋吉(二八)の検學 大井橋吉(二八)の検學 ことが豫期されるに到り ことが豫期されるに到り に逮捕された李駿基(二)飯田花子(二七)奇廷县

(H)

から密行中の順天署吉田刑をら密行中の順天署吉田刑をへ同店ボーイを殴打、亂醉の上不磋な言跡を弄し剩 **廣を期する一つの手及とし協和會では會運動の發展充** 重淵 縣

一 凡ゆる部面から工作主力を 較的良好な成績を撃てゐる を指定して之に對し で本年度より全國各省中比 歴過を検討すると共に今後
変施してゐたがこれが工作
を
るため所謂『重點縣工作』を
るため所謂『重點縣工作』を
るため所謂『重點縣工作』を の方策を協議するため十一質施してゐたがこれが工作 開催した(宮政はその會議 お事に於て昌國縣(奉天省) 指集、重點縣事務長會議を 指集、重點縣事務長會議を

條通四一路上で高ひしてゐ十日午後一時三十分頃東二

秤を胡魔化す

もの

二田口、菅原兩別事がオー ボー二斎を抱へて徘徊して 悪を言はせず本署に連行取 無を言はせず本署に連行取 制べた結果朝鮮平安南道生 れ老電燈廠街一五號居住横

さる様に御取計ひ下さい 管事業の一部に御加へ下 営然の事をしたのですか

本七・三〇講演「吉林ダム 七・四〇物語「忠臣藏特 報」(東京)吉田澤右演門 京)本村野太郎今九・〇〇 府縣めぐり(甲府) | 取消 十日附朝刊三面 殿今晩の放送 融金工商小中 速 迅 便 輕 社會式株業實省東 (木〇四街大同大市別特京新 所在駐) (番七一九四2 話電)內水と拓東

用官舎二五五號美田智氏妻 京防犯協會では十日順天署 京防犯協會では十日順天署 人どして表彰したが、同シ 人どして表彰したが、同シ

石御希望の方は自空履極書寫質携帶當店二階人事係へ御申込下さ 十二月十五日

集金員

若干名、三十歲以上身元確實人

女

十六歳以上(丙地人に限る)

寶山

學

高小卒程度以上

電(2)近(7)

で本年十月頃から空集専門 に窃盗を働いてゐた事が判 時した、犯罪事實左の通り △十月八日頃吉野町一丁目 福濱商會でオーバー一着 (五十圓) △市日頃伊勢屋洋服店で協 一月四日頃提敦會社の 会十一月四日頃提敦會社の 会十一月四日頃提敦會社の 「本十圓」 地三郎こと梁炳鈵(一八) 右御希望の方は電話③三八五九番へ一、傷所、与外の設備有りで1チカの設備有りで1チカの設備有り 内地人男子 墓

道

建築設計監督及施工 電事務所を御利用下さい 北安路

(3) 務 0

、れてゐるが第三年度たる本年度迄の百萬戸計監實績は 左の如く大體豫定通り進捗 を関軍を加へる時は實績自 年 質点は木の〇〇

八植成績良好

給仕 内地人男 特京大局大衛東京海上ビル二階 特京大局大衛東京海上ビル二階



(E)

(日曜火)

和す新興東京は一月に送る 和リデナル四大作品を所員 認動員で一齊にクランクを 関始したがこれらは十日間 の豫定で左の如く豪華ロケータランクを の第一次のは、一月に送る 初春四大作 年を期 手六百

尾危 赤 癸 火 宿 口未 曜

現してあるやうである。 乗りであるが、何か宣傳協 取りであるが、何か宣傳協 最が販やかに展開される時 機が販やかに展開される時 を がしてあるが、何か宣傳協 がは答修される。 を を が、何か宣傳協 が、何か宣傳協

くうとう誘導しやがついた、H 君は變なでも娘が豆鐵砲であるかのなるを見してあるがのであるかった。H 君は變ななるであるがったりがなるとであるがったりがなるという。 でれが世界中で でれが世界中で

大邱リンゴ(内地送料共) 鏡南浦國光リンゴ(四貫日入) 備南浦國光リンゴ 承り二十日迄……一階 四貫目入(一箱)…八・〇〇個製光リンゴ(内地送料共)) …六・八〇

鎮南浦





居市天經路百 佐 佐 古 一 四 號

国 約又は御買上げ下さい 店の犠牲的値段 店の犠牲的値段 賣切れと 御家庭に 店内陳列御一覧下さ 問 豐豆 等 同 上以〇五。七 ③六三二六番 時に締切ります 富 價 上以00 · 七 n 内今すぐ 市 價 等 限 上以〇五・六

東徳六年十二月七日 羅沙店 羅沙店 単徳六年十二月七日

野京

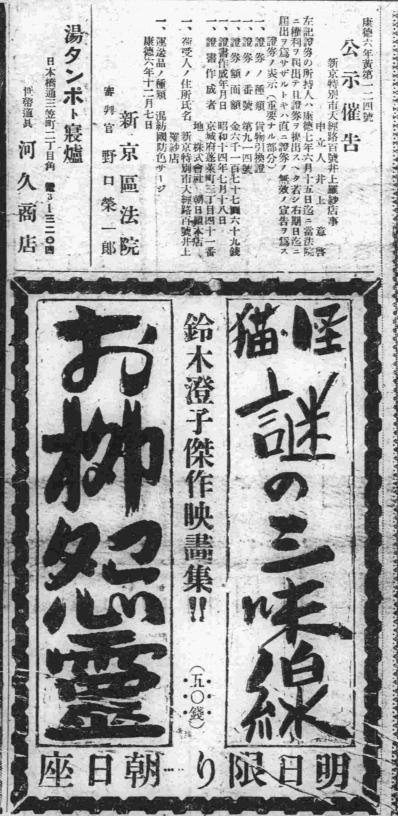
口區

湯タンポト寝爐

日本橋通三笠町二丁目角

字 治 東家樂燕の春日井梅鶯の春日井梅鶯の本米若の · 一河 浪曲界 日活特選娛樂番組封切三本立 1-高品品 一度は 曲フ 國人「神木集の從友乃將令 名人競演大會 御躛下さい 花軍田木軍
嫁歌伍さ 長ん 點の 涙新に h. 廣告 0 御用 人の競 命 は 電話(3)三三〇〇番 · 郎太國村澤 · 郎太菊上尾 作健子藤 原水深

るたみ切怨哀のもるるた討のもつ討 「道士武討仇る亘に代二讐恩



月川 U) 緑の卷 朱の卷 當 **高**雪上, 高杉 原 三枝子·島津保次郎 早苗·佐分 源作 原作 監督 鐵兵 利信 朱ミ緑再現 調館の坩堝 豐 劇

電具五五四 おら

無い! 火の気が―― 恋の連判帖を取り出して、 恋の連判帖を取り出して、

何を考へたか、

關

各地株式市况

高島の活動こ を易断所で を易断所で

ユー え 2,2) 5,65 7,05 に 吹 く 花 12,00 2,45 5,40 8,35 十二月八日より十一日迄四日間 四十銭

日曜日は十時三十分開映

豫告 十二日より 朱と絲大會

そ千金の價値!!

三言留比 立言留比二分一 立言留比二分一

東京

6.0

ବନ୍ଦି

୍ଦ ବ୍ରବ୍ର

A A

60

山崎蒸は、一世一代の智

世を忍ぶ變名、まことは古世を忍ぶ變名、まことは古間指の勤王家なのである。

| と思ぶ變名、まことは古勿論、桝屋喜右衛門とは

ふ返事だつた。

主像小橋、河原町東入る工像いふのがあつた。

行燈の灯をふり……。いきなり襖を閉めきつてのいきなり襖を閉めきつての

物のでは、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般では、大学の一般である。

現五四三二一三 月月月月月月月 物限限限限限 済

未豐書之

菜則場

一着

〇個六九

新選組が、

(八十七) 指責め(ご)

『起きろップな問けられる音を聞くと、

三五弗〇〇〇

務入志〇〇〇

橋といふ橋、大路小路の 関連人の巣となりさらな 関連人の巣となりさらな

展入を密に抜け口から逃げ 展入を密に抜け口から逃げ

大澤にわめきながら

《**外國爲替** 《為善三弗亞仙四分一 《為善二三弗四七仙四分一

の家捜しで

とくる新選組の猛者。一

で入 英田総書 | 七井四十一 | 大 英田総書 | 七井四十一 | 大 英田総書 | 七井四十一 | 十 井四十二 | 1 井四十 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 | 1 日 |

かへして、部屋に入

图)

彦

畫七

近

勇

前士

京人綱

銀座李

6,30 6,40 7,30 9,03 10,10

3,38 7,16 4,33 8,11 4,59 8,37 10,40

ば

3

盛

の菜めし

3

どうも怪しいといふ瞭が出 桝屋喜右衛門といふ人物が 四條寺町の古道具屋で、

喜右衛門すなはち俊太郎 見た沖田は、然し、縄附の まムの俊太郎を引の立てる まんの俊太郎を引の立てる 同道せい!」

阪網 問題思言の元人であ 品市况

如存知・ありせん

K

年内封切



Aの三町座書

電話 ② 二七九二番與安大路四一三號地

市立營院眼科 滿鐵營院眼科 際 院 眼科 營 院 眼科

四二二四①電 四

大松號支店

その時には、薬費りについてゐたし、池がを貰つてきでゐたし、池がおぞろしい新人物だなどとは、薬費りに居たのだつた

見る間に、

(日曜火)

乗賣りの商人に化けた。そ く泊つて、それから京に引 をかへした。

池田屋惣兵

喜右







ユ血の影り記

才

展刑一般法律事務 民刑一般法律事務

漫

ノニド店 本

朝日座 1,32 1,44 3,40 4,13 5,10 11,00 11,31 12,28 8日より 12日迄

大日本故青年體操大日本衛民體操

實別表明二十 思慮明表例四 配二枚一各





道

(消防署東天)



2,45

11,30 3,30

1,00 5,00

6,45

7,30

10,15



菜飯の由來

新京寺 いき 秀品 にも

有大評定 前篇 12.00 同 後篇 1,33 5,18 10,10 九日より十二日迄 六十銭均一 変は 九段の 櫻花 文 福 茶 釜

酬 共 に 12,00 ス 12,55 引 大 會 1,21 7日より12日迄



圳

待

3

下

知 識 眼 利 醫 四通 六六番六



おでめし ば か 盛

養豊富にして美味然かも香りが 良くて非常に賞讃されて今日に 殿方が参勤交代で東海道を上下 名物となり徳川時代に諸大名の される時いつも茶飯を召され滋 旅人の間に非常に賞美され遂に 至るものであります 昔慶長の頃に初められ往き來の 食の上御吹聽下さる様偏に御願ひ申上ます 不自由を御掛け致しまして中譯ありませんで賣出してより直ちに賣り切れとなり永らく御 弊店自慢の菜飯は開店以來皆様に御賞美され した、本日内地より着荷致しましたので御愛

映 とうま ウェヴ 彩る東・西松竹傑作群 是友之婦主, 年末から。新春を、革や 暖 B F Ŧ. 你次改马大陸溢中 阿姆 郎郎郎 母る「て 佐高 | 涙の名演技



E/-

JII

П



古くは「人妻棒」本年度「新女性問答」「日本の妻」等で同女性性問答」「日本の妻」等で同女性性問答」「日本の妻」等で同女性の紅涙を絞つた悲劇の女王、川崎弘子が、三尺の長脇差をぶちの空前絶後松竹京都女剣戦の空前絶後松竹京都女剣戦



入

原

15 局時封切 「女次郎長」 伊 勢 夫 十二日出 監督 • 青春 讚. 歌

諮問答申案可決

第三回興亞委員會

欧米視察談御聽 大角大將を召され

(日曜火)

【東京國通】天皇陛下にはさきにも戸ブ州 ・ 大將のイタリーをはじめ英佛等を歴訪、動風下の ・ ンドンでは防空などの實情を限のあり視察した 大將のイタリーをはじめ英佛等を歴訪、動風下の ・ ンドンでは防空などの實情を限のあり視察した が況、更に作職下の大西洋を經でアメリカ經由歸 朝までの歷訪各地の訳況を一時間に亘りつぶさに が現、種々御下間あらせられた、なほ湯淺内府 が平宮相、百武特從長、蓮沼武官長などに對して ・ も御陪聽仰付けられた

(漢口十一日發國通) 武漢 を中心とする十一月中にお けるわが軍の蘇々たる戰果 は次の如くであるが、その 綜合戰果は過去數ケ月に比 べると著しく減少しである この減少の主因はかの漢湖

撃を蒙り焦土抗戦をうそぶく敵軍も近来さすがに戦意 全く喪失、戦闘力低下の實 情を暴露したもので、敵の 出撃回数をみても十月は二 百八十であつたものが十一 てゐる、十一月中の戦果左

1255

【頁二十刊夕朝紙本】 對實 定率 全告 訂纸 行所 特的第一

振科

二一十一 河門 五五建 十十 通知河 介憲忠 8

を見て、で などゝ思ひこまないもので るもない▼或は論者あつて、 か被消費量が文明の進步と 計 砂糖消費量が文明の進步と 計 砂糖消費量が文明の進步と

m m n 图题行 AAA

る白銀の峻嶮を揺がして强く天地に轟き渡つた、尚戦県は朱だ調査中なるも判明せる敵遺棄死體のみにても二千を三澤東南方地區一帶に蠢動せる敵二萬は痛烈なる打撃を蒙つていづれも縣山東南方地區に撃退されわが精鋭感激の萬中四十七族に對し俄然總攻撃の火蓋を切つた竹田部隊も同日同地を占領し故に作職開始以來僅か一週間にして東部中心工東帝中、西交口の兩地を占領、更にその一部も縣山東北の頑敵を粉碎してこれを東南方に潰走せしめ又陽家村に東京中、西交口の兩地を占領、更にその一部も縣山東北の頑敵を粉碎してこれを東南方に潰走せしめ又陽家村に東京口、西交口の兩地を占領、更にその一部も縣山東北の頑敵を粉碎してこれを東南方に潰走せしめ又陽家村に東京口、西交口の兩部隊は九日選に商立に 高歳は夕陽に映ゆ 中條山脈の峻嶮聞 の選立第 で発いり獨立第

獨海軍堂

R

出動

脚定権上の訴訟はすべて判 対により事件の圓滿解決を がにより事件の圓滿解決を がにより事件の圓滿解決を

をれた をれた を対した をがりた をがりと をがりた をがり をがりた をがりをがりがした をがりがし をがりが をがりがしが をがりが をがりが をがりが をがりがしが をがりが をがりが をがりが をがりが をがりがしが をがりが を

聯合委員會 新生史

畏 し天皇陛

意

月

を深き のがある 日をトして開曾される第七 を変換き のがある したりになった。 を変換した功績は相電大なるも を変換した功績は相電大なるも を変換される第七 を変換される第七 を変換される第七 を変換される第七

十二月一日調停法が施行され調停に依らなければ訴訟することを不可能とし所謂強制調停主義による民族協理制調停主義による民族協力を通いるが、國土廣大且つ交通をおげて來たものであるが、國土廣大且つ交通 蔵に「巡回調停に闘す 日の第六十四次國務院會回調停の要ある處より十

生物の対象を表にあるなは事件解析を表にの書記官と同一権限を を有すを課であるなは事件解析を表している。 を有きなつてある。 本人の対象化を関るため書類を が、は二百五十圓以下の からず口頭でも国け得 が、は二百五十圓以下の からず口頭でも国け得 が、は二百五十圓以下の をは、一百五十圓以下の をは、一百五十圓以下の

聯を飽く迄阻 **芬政府中外に闡明**

1ペルシンキ十日 投 風 通 3 マイシランド 軍司令部は十日コムミンド軍司令部は十日コムミンド軍司令部は十日コムミ 地峡ソ聯軍撃退さる

極めて性少であつた を攻撃したが我方損害は を攻撃したが我方損害は を攻撃したが我方損害は を攻撃したが我方損害は

チットチ萬

會社總裁ジョーンズにあるが、アメリカ復四 リカ復興金融

スタランド國民の必需物 考慮中と語つた メリカの過剰農産物セの他 も同様クレデットの貸與をデットを設置し、これをア 更にノールウエーに對して 東にノールウエーに對して を設置し、これをア 更にノールウエーに對して 表した、ジョーンズ總裁は

▲ 藤澤和夫氏(同)同 ▲ 阿部松太郎氏(専賣局技 師)同 ・ 保浦太郎氏(専賣局技 ・ に)に ・ で)に ・ ▲森山薫氏(滿洲探金)同 ◆中野喜一郎氏(北安省官 東)櫻ホテル ◆竹内仲夫氏(同)同 ・局崎和湾氏(昭和製鋼) ◆新常國大郎氏(地質調査) ▲松浦恒二郎氏(會社員)

の軍需資材を提供しつよる の軍需資材を提供しつよる の軍需資材を提供しつよる の軍需資材を提供しつよる の軍需資材を提供しつよる 重慶の投票権は聯盟理 事會が聯盟加盟國を除名 支那棄権を通告 リ聯除名投票に 一分新京書あじあで隣京する び東上中であつた山崎電業 社債その他の重要社務を帯 山崎電業副社長 事往泳

德 德 一ツ身

巡回調停實施 独制調停主義で和解 一、省、黒河省及び興安各 省臨時職員設置制中改正 の件 、公務死傷者子女修學費 給質興に關する件 1

疋田長襦 策を地で行く御奉仕を致し 歳の市 輝く皇紀二千六百年を迎へ 古用,」」」」」 ます切に御淸覽の程をし るに際し本年掉尾の低物價 大賣出し 聯 電話③二五号五 日本橋通二 加盟店 召二十圓 二十五日国 廿五圓 三十圓 十十八 一割引 卅

備の大糖張に

英佛の

でもつて編成される「蚊艦 と期するため高速度水電艇 更に同海方面の防備に完整 更に同海方面の防備に完整

着手してゐる 簡手してゐる

【ロシドン十日 後國通 英 一特派員よりの 八電によれ 「英國派遣軍に從軍中のロイタ 大、これにより英軍には十日 以來三ヶ月にしてはじめて 以來三ヶ月にしてはじめて 以來三ヶ月にしてはじめて

(上海十一日慶園通)加藤 新花壇において墨行される 新川兵團表思塔除幕式なら がに招魂祭に参列のため十 でに招魂祭に参列のため十 でに招魂祭に参列のため十 でに招魂祭に参列のため十

で同大使との間に非公式の の 日来現地會談を行ふ意向で あるが、最近北海大學問題 が 日来現地會談を行ふ意向で を あるが、最近北海大學問題 等が見つゝある際なので右 會談は日米國委調整の側面 的工作としてその成行きが

入漢狩の

脅迫に

不國海軍省はカリビア海方

はいかなる

遁れサ港入港

ブ國、トま洲

大十八日を要してサントスに入港したものであるが航に入港したものであるが航ため大阪商船さんとす丸の名前を借用サントス入港直といはれる・

游郡鬼<u>唯村</u>〉 小尉吉田編松(北海道留 縣(市)洲崎五十九)步

氏は秘書陳少君を伴ひ、十 一日午前八時四十分東京驛 新入京直ちに宿舍山王ボテ

れも二十歳から二十 での青年である、但 らの青年が實際に入 のは本月末以後と傷 のは本月末以後と傷 ので、前二回の召集

一萬づムが 一萬でいい 一萬で終し 一点に際し |回目の大阪する

てるたもので、スウェーデンにおいて全軍の統帥権ががか、る緊急手段を採られたのは實験のことであるがか、3緊急手段を採られたのは實験の波及を恐れた結果と

ンらなっている。

八紘之基柱

日臨

時協定の期限な

長百日祭

聯盟理事會討議 ソ芬問題に

大宮御所行啓

(東京國通) 皇后陛下には 十一日保科女官長、廣幡太 大宮御所に行啓あらせられ略式 自動車鹵簿にて宮城御出門 大宮御所に行啓あらせられ 皇太后陛下と御對面、歳末 の御挨拶を遊ばされて御團 らせられて午後三時四十五 らせられて午後三時四十五 に今次總會はソ聯、フイン ランド紛爭の討議のみに極 関され努めて別見、 でイン

英の第三回召

に對するす

聯の国際的孤立を回る

- 紙上に過数のファシストルナール・デ・イタリー紙 ルナール・デ・イタリー紙 ルサイチエ・デ・イタリー紙 の関際 リカー・デ・イタリー紙

大評議會のファシスト 决意重

マジ

線守備

行す 内 附

即り上り之を施

蒸氣及內燃機關車

東京市芝區芝浦三丁目 • 體話三田(45) 3 3 9 • 3 5 4 5 · 長 9 3 0 番振替口座東京一〇九二八 九番・受信略號東京三田(ジバウラサカイ) 發動穩工場東京市芝區西芝浦四丁目量話三田(45)0993

獨軍と直接相對峙

●大連株式

所であります。又解所の特許三様安全枠裝置け初心の方にもでも類界に古くかち減られたる本邦第一の専門工場でありまでも類界に古くかち減られたる本邦第一の専門工場でありまでも類界に古くかち減られたる本邦第一の専門工場でありまでも類別に古くかりましたので、 後多の特徴をおける一般をロードローラー及ど交通と運搬の搭機械別作に炭条所は互斯倫機関車とガソリンを1.製作の本邦に於ける元度・

各地株式市况

商沿

後出

加藤公使南京

あかり正脱は家がい的ハメリら動し富したでを、傍政リ 英派遣軍

孫吳出張

廣東省内に 內輪喧嘩頻發 張間の對立激 り、余漢謀派は兵力優秀を 吉あるところから戦国司令長 官並に蔣政權主席の椅子を 横取りせんと企圖し舊鐵軍 は汪精衛と通謀せりと讒言 し、張發奎、李漢魂兩人追 委員會章程 林業財產買收

加奈陀、倫敦海

(ストツクホルム十日後國 ロタフ五世は十日、前國防軍 タフ五世は十日、前國防軍 が課金をスウエーデン國軍が選を入ウエーデン國軍 が開催を全スウエーデン國軍 が はからに任命した、今日ま

要國通1 英

令官オ將軍任命全瑞典國軍總司

・プル日漫図通

開始した

社丹江市遠山大路三番地野江市遠山大路三番地野江市遠山大路南極街第二一號

本、支店、營業所、出張所所在地中込の事工、其の他の疑義事項は最寄解社支店、營業所、又は出張所宛御照會の事工、其の他の疑義事項は最寄解社支店、營業所、又は出張所宛御照會の事本、支店、營業所、出張所所在地

御、中、込、要、項

一、中、込、期、限、十二月二十五日 締切

二、弊社所定の配給中込用紙に依る事(用紙は各最寄店宛御請求相成度)

二、弊社所定の配給中込用紙に依る事(用紙は各最寄店宛御請求相成度)

なく御記入相成度記入洩れの為無効と相成る場合有之為念(各通二なく御記入相成度記入洩れの為無効と相成る場合有之為念(各通二なく御記入相成度記入洩れの為無効と相成る場合有之為念(各通二なく御記入相成度)

需要者各位 和自動車工業株式會社

を左記要項により弊社最寄の各支店営業所出張所宛御申込被不便此段謹の大第と存候就では第四期分(康徳七年一月より三月迄)の需要見込数を取認め當局の査定を受けたる上配給致す事と相成居候続は既に御承知府の御方針に依り弊社に於で配給を続制し豫め各位より御申込の需要致済州國並開東州内に於ける自動車用タイヤー及チュルブは健衆の通り政済州國並開東州内に於ける自動車用タイヤー及チュルブは健衆の通り政済州國並開東州内に於ける自動車用タイヤー及チュルブは健衆の通り政済

康德六年十二月一日

【香港十一日發露通】 桂林 東電によれば日本空軍は昨 東電によれば日本空軍は昨 大り爆撃した

全縣を爆撃

自動車對計中込廣告

醫 入院の設備あ

-60 錢

最近の納入先 中南滿之準北臺朝各帝內農陸 取扱諸位於 株式會肚米井 商店留 三非物產株式 會社協

4-25TON Wサイドロット式

手形交換機 十二

[東京國通] 汪政権の意 する南方大學々長江杭虎 | 郷山して新東亜建設に邁東京國通』 汪政権の幕下 軍慰恤 献金品「城越」

國防皇 コニ十九圓 ロール 間五十四錢(關東軍司令部) 明(同)

果____ 市大方六千〇〇二十金五千八百十三圓六十八銭軍用を金一千四周三十五銭軍用を金八千四周三十五銭軍用を金八千五銭軍用を金八千五銭軍用を金八千五銭軍用を金八千五銭軍用を金八十五銭軍用を乗りませる。

思議であるといふるだけといるを をいる記憶な生活でした。 を対演程を をいる記憶な生活でした。 を変えた。 を変えた

出を語る脱

け禁に 禁に 等に 等 に の 外人

たが、十一月廿五日保護してくれたフランス人が海南島海口へ赴くことになりやつと重慶政府の許可を受けい逃れてきたものである、これできた、恐ろしから香港に出てなった。 これの一室でほつとしたやうに、恐ろしかつた重慶三年間の様子を左の如く語つた。 ひめ外出な一歩も出来でしてなってから極端でれる は海南はは日に日になりないようなで病気になった重に日になってから便船で大田本海軍機の客襲かはげに日になってから便船で大田本海軍機の客襲かはげに日になってから便能である。

△ 大の如し ○ 大の如し ○ 本準次の如し ○ 本準次の如し ○ 本準次の如し ○ 本準次の如し ○ 本準次次の如し ○ 本準次次のの ○ 本準次次のの ○ のののの成の ○ ののの成の ○ 本準次の成の ○ のの成の ○ 本準次の成の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の成の ○ 本述の ○ 本述

・本年度事業計畫の件 ・本年度事業計畫の件 ・本年度事業計畫の件

キー部委員會 電情聯盟新京事務局スキー 部では八日午後六時から中 銀供樂部で委員會を開催、 無場主事はじめ北村體育主 の打合せを行つた

投稿歡迎、 9 官廳及び會社に於ける事務官廳及び會社に於ける事務に連記科を開設すること」なつた、即ち麞の寫眞としなつた、即ち麞の寫眞としての速記の利用範圍は日一日と擴大され事務的にも不可缺のものとしてこれが教育所を設置、事務員養

成を誓

自午後 七 時至

チタ鴻洲國領事館森下書記 後等時卅五分モロトフ鐵道 で満洲里に着いたがチタ會 説の模様につき語る 人保田、龜山兩代表等一 人保田、龜山兩代表等一

一月七日開講

本宛增發決定

といなつてみるとなって大量輸送となって大量輸送と

不養一本宛を增養すること 下各一本宛を增養すること 下各一本宛を増養すること 下各一本宛を増養すること 下各一本宛を増養すること

凍記生菜集

中根式

統合具体案決る 物資低物價政策進展

場會社の解散に伴ふ純資産の需事者等をもつて組織する評價委員會に語つて決定の言語を配入の言語を配入の言語を記入の言語を記入の言語を記入の言語を記入の言語を記入の言語を記入の言語を記入の解散に伴ふ純資産

つてもその定数に生活必需は市場會社の統合を準備し生活必需品會社の統合を準備し 一、統合すべき中央建立市 場會社は新京、奉天、吉 場會社は新京、奉天、吉 接層が大き中央建立市 、前記各市場會社は構込 で、前記各市場會社は構込 で、前記各市場會社は構込 需品會社より市場會社の地震を表するが、市場會社の地区である。一、前記各市場會社は地区では必需品會社の地区では必要なる。一、前記各市場會社の地区では必要なる。

左の如き要領によつて進め、中国電情場會社統合は大體中間も生活必需品會社並に中

を記して運営されることと おさして運営されることと なるものと見られてゐる

新たに組合を結成 市 かは全滿百十四ヶ所に配置 府は小麥粉配給和合を 一 おは全滿百十四ヶ所に配置 府は小麥粉配給の圓滑とそ であるが、政 の事實となり、從つて小麥 る事となる譯であるが、政 の事實となり、從つて小麥 る事となる譯であるが、政 の事實となり、從つて小麥 となる譯であるが、政 の等となる。 校の分會設置は非常な

トンカッの

日開催の國婦審議會

小麥粉小賣人

民必須の問題でありながら 貴重なものであるか現下國 であるか現下國 であるか現下國 液體燃料講演會

試食を……た是非御を始めました是非御

」の講演會を開催引續きこの「人造液體燃料についての「人造液體燃料についての「人造液體燃料について は十六日午後六時州分からめるため滿洲科學同好會で なほその認識を缺く燃料に いて一層社會的認識を深

大同大街(大興ビル地階)

青葉グリル

電話②四六二五番

祭署より中央通署司法係に十一日午前富山縣三日市警 拐帶店員捕る

心より酒精賣掛金千二

林正男(二六)を十日夜同様逃走した元店員愛知縣資

公電があつた、二年振りで 名手配によつて逮捕した旨 てゐるところをかねての指 エーで大盪遊びを

会電があつた、二年振りで 以来各都市で拐帶專門に悪 以来各都市で拐帶專門に悪 事を重ねてゐたものゝ如く である

實験者は語る

「命の母」が生んだ意外な事實

第三次青少年義勇隊百五十 男躍内原訓練所を出發した のらくろ嵩伯 義勇隊と來京

新京代表決定

新奉對抗冰上

寺金今荻

唐子澤

岩湛

室

慰問品を送るに就て

ない財布をたいて、右の 私としましては、御奉公保管料を支拂ひ品物をもらの兵隊さんに甘いものの一な話しますに、慰問品としくりかへされましたら、兵で送つていたよくのは大變 騒さんに無理させるのぢゃには却つて迷惑だと、申しま い様な気持になるのです。は却つて迷惑だと、申しま い様な気持になるのです。は却つて迷惑だと、申しま い様な気持になるのです。は却つて迷惑だと、申しま い様な気持になるのです。はかなりの負擔だらうとおも 通じて御願ひ致したく存じ が、私も大變すまなく感じ ております。

會員獲得

目標

した頃でも、

は、明治の元動東久世伯爵や伊東

婦人にも愛田

B

堅

層

萬人程度にしか過ぎずその萬のうち滿系婦人は僅か五れに對し現在の國婦會員世 後一時五分發で現地に向つ 数支社食堂で食事をとり午 (遅延) 着列車で斎京、滿

雅

足の冷え、痺れ

醫の實験推炼を得最近では、

本的推進力たらんとしてみるらゆる國民運動に澎湃として接頭新滿洲國建設の規して接頭新滿洲國建設の規

る根と時

の たるべき関防婦人會を擴充した る家庭婦人の特神的教養をと る家庭婦人の特神的教養をと

國婦大童

の活躍

の植物類が最も適當で! ルモン剤やピタ

でつかまへると「すこし寒 を形で納まつてゐた、驛頭 た形で納まつてゐた、驛頭 たがで納まつてゐた、驛頭

中には原料の精選と

東西學生就球門 東西學生就球門 東西學生就球界の計画學生就球門 大大清四對二一回東西學生就球界の 大大清四對二一一回東西學生就球界 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對抗戰 一回東西學生對於定才 一回東西學生對於定才 一回東西學生對於定才 一回東西學生對於定才 一回東西學生對於定才 | ちまた歸って 婦人の血液を描

日な顔付で語 とのらぐろ霊伯は案外眞面

特に「命の母」の如きは病

どで、妊娠を既 できる」といふ 不思闡に子供が 「のむと

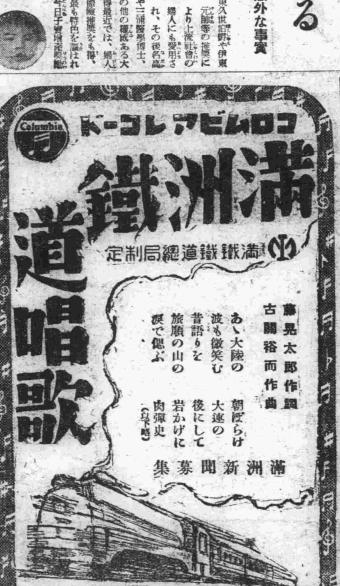
らは恐れられたものです

過去數十年間、病苦と子野の産植物薬でなければなりま せ、形のやうな

信頼を深めつゝあるので

種々の有効成分

ン部にもない



記被突口











お知らせ 一日より開始! 茶 き

洲の國家情勢を

ました御利用下さい 御座敷の用意が出來

篇 伊勢 参 拜 **画** 休 ル巡 込所

新京市中央通り **ホ地**

電話(三)三

電話(三)五八 電話 CIID 三五一

汽汽剛日出始 船車費數發 * *

宣 楊 武 運 長人 亦 大神宮橿原神宮ヲ 願

宣揚武運長人祈願八滅皇紀二千六百年大吉辰 國

争 奉天

會等には祭たの お簡単なる 八高、間本言利

膝の上

にエンコ

數目前のこと四

人の斥候兵

れ」は坐

報じてゐる

けて動く

して物を握りませたが月――一人でこ

エンコ出 っかむ

は前線偵察を命ぜられ夜に 出酸、迂廻して敵前線の歩 出酸、迂廻して敵前線の歩 八つた、折柄の月明と一面 入つた、折柄の月明と一面

ジーグフリード線

鐵十字勳章を授與され

を学に通さず)干上げ では水氣を去り学にかけて では水氣を去り学にかけて では水気をより学にかけて

ズ ボン の方は、鏝先 を入れて腰の裏布をかけ、最 後に残つた他の片脚の両側 をかけるやうにします

ます、濯ぎ上げて後、

最初中性洗剤の

英雄的行動によって最高の 迄もない、尚下士官はその 姿を見て狂喜したのは言ふ てゐた本隊の人達は無事な

る獨國兵】

かめたり、つかまんなかかめたり、つかまんなかいからとしますが、つ

延康診斷及び微力検査も電 要な項目になつてゐますが 一般の母親は乳幼兒の運動 によって動きれること か大切です、即ち乳兒期は がん坊が自分の身體の色ん な部分を一通り動かせるや な部分を一通り動かせるや

動が出來るや

**** ** D ** A

戦線で活躍し時間の一人足らの獨逸版*** の斥候兵***

へさうともせず尚も耐進をにも拘らず彼等はまだ引か

續けた、突然人の影に「誰

の昨の洞窟の中にひそんであれたが許可されたのである、それたが遂に無事切り抜けされたが遂に無事切り抜けると共に一日中池

日の暮れるのを待つて再び敵の限をくらませ、かくて

数々の障碍を突破無事敵情

偵察を終へ味方陣地に躑邊

たり、質を傷めたりしてしたり、質を傷めたりしてしまひます、毛物辨底の折柄よくよく大切に扱ひたいものです、合理的なお洗濯のがある。

アイロン のかけ方は、最初胸は、シャッの方は、最初胸間をかけ、それから胸部タンのまはりをかけて から前全部をかける、そして最後に後全部をかける。

相生太夫、三味線、 (東京) 義 太夫

告知事項明、

か」と誰何され最早これま

人はフランス軍前線背後の人はフランス軍前線背後の

でアゴをし

腹んばいの姿勢

同じ姿勢で肩を

停頓妖態の西部戦線で活潑 に行はれてゐるのは双方の 、 、 を明した勇敢なる四人 の斥候兵の逸話を左の如く

ます、アメリカのシャーレー 選進を遂げる時期であり

延びる

(四)

ります、から見て來ますと つて始めて出來ることであ います、から見て來ますと

ルート と原生省際 ルート と原生省際 ルート と原生省際
に積極的に乳幼兒保護に乗
の出すことになりました、
な力局案によれば
の出すことになりました。 統後の母親が蓋す最大

その次に自由になるのは腕一せんから、この下の部分の顔だといふことが判ります。 るやうになる譯ではありまれのは、一番最初に子供の自一誕生迄の内に乳兒の全部が出来のは、三か月で首が据る。 来る順序がわかります、おますと、三か月で首が据る。 来る順序がわかります、おますと、三か月で首が据る。 赤ん坊の運動能力の發達は 頭から腕へ、腕から腰へ、 腰から胸へと身體の上の部 分から下の部かへと進んで 来る順序がわかります、お 来る順序がわかります、お

十二ヶ月――家具を引き寄せてつかまり立ちます 日本の幼兒に ついて神戸市立兒童相談所 の尾崎清次氏の調査したの を大體同じで、只つかまり 立ちと温ひ湿ひがアメリカ の幼兒より一ヶ月宛早くな ってぬます、この運動能力 の後達の順序をたどつてみ ますと、三ヶ月で首が据る ――麦へられて歩 道ひ道ひ

新生兒全部の

で 三ヶ月頃から段々腕の に手で物をつかむ事が自由 になつて來ます、さて、そ の次は腰と脚で、エンコや つかまり立 5 東京、大阪、

銃後の母親常識

数育の完成されるのは次の 幼兒期の始めに織く事にな スキ 塲 紹 介

極める十字又は丁字

路の中央地下に大保護室を 設け平素は地下步道として 道入口を密閉して百キロ位 の爆弾にはピクともせぬ安 全な避難場所とするもので 全な避難場所とするもので 豫定で内務省計畫課と市側 安全防空室のあるビル指初 安全防空室のあるビル指初 三米を な建設することにながの一を補助し各一ケケの一を補助し各一ケ

IJ

为

0

巫

大連州のお知 大連州のお知 ・ ・ 四八(大連)

店り、平職兩樣の意味から。 この結果は各方面から注目 度の工事として豫定されて りの新幹線を選び十萬圓程 設とし、吳市は北部山手よ 以て二百名を收容し得る施 阪驛前と決定工費廿萬圓をと折衝中で大阪では旣に大 東京無線

防空地下步

吳市に

内地の防空施設

九、O五(東京)経濟市記 別「螺々夫人」幻想曲 (ブッチーニ作曲)歌 ・ の の (新京) 領歌道報

お塞くなって毛メリヤス のシャツやズボンをお召し になりますがこれは洗濯法 を誤りますを縮んでしまつ ツ・ズボン い布を當て、軽くアイ

質を傷

8)

三〇 (東・新) ニュース 〇〇 (本・迪) 經濟市況 〇〇 (東京) 經濟市況 〇〇 (東京) 經濟市況

八番「悲愴」(テンスキー作曲)コード 衆、交響の演

シャ

ス・職業紹介・生

新二〇

堂物語」HP 00(仙臺) 九、三〇(東・泰)經濟市況
九、四五(新京)建國體操
一〇、〇五(大連)經濟市況
一〇、〇五(大連)經濟市況 「新京放送局」 十二日(火曜日)

五、二〇(奉) 天連 ニ海市

お揃ら結婚式 說小 天地の榮ゆる時 の慰問品 金田屋 サトウンチョー 小島政二郎・お天氣でから君 藤澤桓夫 永田秀次郎 シよっ 武加雄藤 質金物語 松村 きり名人能林 空を飛ぶさ 映畫▼ 失敗つた由良之助 ならぬ人 るものなし! 流行歌手 卷色刷· 宇陀兒 小海舌戦會▼住所本名・ハバム▼外國女優花・ルバム▼外國女優花 機能與馬馬 **洪山**图注

(日曜火)

高思選氏 記者、工業方面について高

驚にを

宮學曾氏 事變以來日本の工業界は無工業以來日本の工業界は不振の底にあるのではないかと思つてるましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きましたが、その案外なのに驚きよしたが、その案外なのに驚きよしたが、その案外なのに驚きよしたが、その案外なのに懸きましたが、その案外なのに懸きましたが、その案外なのに変が表して、 きした、農村といはデ都 会といはずほんとに力强 い國家總動員振りだと思 **攬光の第一線に歩調を合** 一體となつて戦時下生産 せてゐるのを見て感心 たことは工場 王も厳工も

た、大阪、名古屋で感じ た、大阪、名古屋で感じ た、大阪、名古屋で感じ をお願ひ・ て献身的に事業に 頭が下 します

關少三 て驚々社會事業の步を進めて居りますが、民間のめて居りますが、民間のめて居りますが、民間のができるべきものなく、之からるべきものなく、之からるべきものなく、とからるべきものなり、といいに日本の諸施設を手 軽的な氣持で不具の子供 高電學校を見ましたが、 音響學校を見ましたが、 ここの先生達は本當に様

趙恩琛氏 能本で孤見 記者 るる監、或は工員の待遇 衛生、娛樂施設、福利施 競等の完備してある事は 戦時下日本の勞資一體の 現れであり、日本の愛國 も恩賜晋濟會がありまして以はず淚がに近み出ました、鴻洲國に近み出ました、鴻洲國に 下の御内帑金を下賜あら △社會施設方面 今度は社會施設方面 うました。しか 熊木で孤兄 魏競炎氏 △日本精神の眞髄 たので皆さんの夫々の研究立場において一般的所 密立場において一般的所 も協和工作を進めて行っ 生方のやらな気持で私業 を愛し育んでるます、砂

しましたが、満洲ではあんな感激的場面は除り見 受けられないことを残念 に思ひます、又農村に入 ると出征兵士の家庭に對 しては喜んでその家庭の 仕事に加勢に行つでゐる。 もとは想像も及びません でした しましたが、満場して第一番に目れ る破禮を

劉秉衡氏

情刊 城五氏 日本人は短 気だ、だから突撃は得意 気だ、だから突撃は得意 を近い今日では日本も相 変戦争に疲れてゐるだら 關明盛氏

た日本に對する疑心暗鬼 た日本に對する疑心暗鬼 た日本に到する疑心暗鬼

前よした、

です、そして之は満洲國です、そして之は満洲国といふ言葉……忠を盡せ といふ言葉……忠を盡せ といふ言葉……忠を盡せ といふ言葉……忠を盡せ といふ言葉……忠を盡せ

たが、日本に來て見てピーとか諒解出來ませんでし 今迄は日本 あること

でまずことは餘りにも平 でまずことは餘りにも平 でまずことは餘りにも平 です、暗い影がない 局下の日本に偶々な

一だと断定しましたとうも有難ふござい をうも有難ふござい をの御話題の上に今回 が発が有意義に反

北上生活師の綾が、つまり農村 てゐるこ

日本を見たことのない外 関人には諒解出来ないだ らう、つまり日本獨特の ものだと思ひました。従 ものだと思ひました。従 って満洲國人もよくこの 日本精神の誤鱵に觸れな ければ間隙のない日誠不 可分隔係の確保は困難だ と思ひました が空恐ろしくさへなりま 動の精神力、即ち日本精 動の精神力、即ち日本精 動の指神力、即ち日本精 い説門 問いたとしても、恐らくこの事は例へ詳じいふ事を感得しました。 満洲事變に遭ひましたが 私は神戸商大留學時代に 私は神戸商大留學時代に なく漠然としか考へてあ でまなかつたのですが、今度なかつたのですが、今度 で見楽の日本精神によ で選行し得るものである のに大きな關心

かと思ひました。

達先配

は日本は兄弟の國だといは日本は兄弟の国から私は日本に對する自分の考へ方に疑問を生じ、それ以來

訪日視察團座談會 滿洲國中堅指導者

日本を見る

(干)

人の觀た戰時下 んが暫く滞かして

張が足りないのぢやない もすれば餘りに呑氣過ぎ

たら、必ず何處に住んでたら、必ず何處に住んで 特場々々たつ

幻

3

女に

間に石を投げることは出來

壁を見詰めたとて何があら た状を見ても何があらう を見いがあらう

別にひどくおどろいたやうな風もしなかつた。しかしすこしして「はあーー」と大きなためいきをした。と大きなためいきをした。

贅澤に身をもち崩した知性 身を躍らすことは出來ない

油のない長髪を指で櫛けづ

「ありがたりございましたをれで入院するとして、部屋があいでゐるでせらか」「さうですね、おい一寸その帳簿」

S給へ、何でもきく みがあるのよ。

つてのて下さい、僕一寸へつてのて下さい、僕一寸やつばり無表情に言ふ。

会別を受けています。 会新京商工月報(十一月號) 会新京商工公會、五十錢 (新京商工公會、五十錢 (大連商工經濟(十二月號) 会別柳大陸(十二月號) 会別柳大陸(十二月號)

川 (七)

「一等が一部屋あいてゐる 「一等が一部屋あいてゐる のでね、それに當分いれて のでね、それに當分いれて

り感動しないやうな

三千圓貨して吳れつて言

「えゝ今なら大丈夫なほり

「肺尖の方はなほりますで

用事があるから」 「お金のことぢやないの、 「お金ならわたしの貯金か七 百圓ほどあるのよ、心配し ないで下さいよ」

高 さらだよ、全くその通 り、僕は飲み過ぎた、神 り、僕は飲み過ぎた、神 を見たんだ。(欠仲をし くちやならん、おらへ急 に元氣を引す) 候は君に

創

喬

露(强ひて)いょわ!いいわ!私が自分で借りるんだと考へて下さつていいわ。 君がく 露露が僕から借 りるく 張喬治から金を借りる?

つたの?

雄禺

る ありがたら!ありがた 5! (戸口へ行き) あいさらだ、僕は思ひ出した さらだ、僕は思ひ出した なったんだよ、僕はあのね、それからね、僕 はあのね、それからね、僕 はあの女に承諸の返事をしたんだ。ねえ、明日僕達は 結婚しようと思ふんだよ でもね、僕は言つたんだ さつと君は僕の附添ひに なつてくれるつて。

喬

でせらり

裔

っては

お願ひいたしませ

らかと惱んだ。しかし、森 のやうに心の底から湧き出 して來る明るいものがあつ た。フミは三四步遅れてだ

だね」「退院す

い、……いゝわ、死んしかし淋しいわ、なに

#\do\0 | \pu \| | \fi \|

え」、それだつてい」

靍

私に

附添ひにな れつ

ね、それもあすの午後ですれ、それもあすの午後ですが

79

あなことを信ぜん。露露しんなことを信ぜん。露露した、僕は絶對にそ

香 むろんさうだよ、君以香 さらね、わかつたわ、 露 さらね、わかつたわ、

がそんなことを信ぜん。露露がそんな銭を使ふなんで、ノウ、ノウ、アイキャンキヴァ、ビリーヴ、イット!それは僕には絶對に信ぜられん、そりやわざと僕に冗談を言つてるんとのに冗談を言つてるんとの。(大笑ひする)君は

在の事類んだよ、グッド その事類んだよ、グッド、ナイト、おゝ、グッド、 をリニング!私の小露露 (喬治手を振つて中央の

裔

「米原フミ、二十五歳」 「米原フミ、二十五歳」 フミは廊下の椅子に腰かけてまつてゐた。 「入院した方がよからうと

まは何と言ふみにくい、だ。他の端をあるきながら、

は淋しす

に舗装路に音

りひとりぐらしは淋しすぎ がいても来ますわ、やして、また満洲へでも支をして、また満洲へでも支をして、また満洲へでも支

馬蹄の

はる心臓の音にもつれ 海路の音がまたそこの 湯素が、フミの乳房を ボブ

がたら 5かだ

るものね『感情までたくましくなると言ふことは理論 の建築よりもよつほどむづかしいことだ』と、あなたにさいたことがほんたらだ。 と思はれ出しました。『日

今夜は赤ん坊が妙に動っては私の手をひきないたりするのだった。

日

裔

高 ありがたら!

したつこ 際をかれ

なんてら な

新

文

もかな やう光なき虚無

待ちに待つた媒介者の翔音 関赤な花ビラが散つて行く 関赤な花ビラが散つて行く

無 主義の砦に立ち籠らしめる 知無 主義の砦に立ち籠らしめる 社会に対しまる 書かれた文字に 君の知性の化粧がある 級られた文字の裏に 熱ひ をこめた牧歌がある 私は知性の化粧を洗ひ 君 の皮膚を剝ぎ 君の理性を熱情の裁判に耐 て成上り 者の二 の装衣をあたへ 先に何があらうと 打辞け とこの知性の氷を

便心の敬歌を 類型など引要いても」 何か摑んであればやり! 苦 to 10 れたた

に在る潴園を見

渡をあふらしめる 酒をあふらしめる 俺も「ベニスの西 商人」 0) 0)

私は洋服やオーバーを入 質したり、本を質りはらつ れるもくろみをたてた。別 にこれと言つて金になりさ らなものを持たぬ私のこと だつたし、二百圓が今の自 分にはせい一杯のものだつ た。とに角自分の全部をな げ出して、フミを入院させ ると言ふ心の満足がせめて ると言ふ心の満足がせめて 本金融合作社(十一月號) 全金融合作社(十一月號) 三好院大「農村經濟機構 門編成に就で」山中豐三 「日本農家小組合に就で」 「日本農家小組合に就で」 会作社聯合會) 会作社聯合會) 会作社聯合會) 会作社聯合會) 会等(新京與仁大路、金融 合作社聯合會) 会等(新京與仁大路、金融 会作社聯合會) 会達新女中心とする同 中妻が大中心とする同 のできる。 のでを。 のできる。 のでを。 のできる。 のでを。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる。 のできる

康新湖社、五銭)

に寄す」生駒高電(四 事業早わかり一等(日 事業早わかり一等(日 事業早わかり一等(日 事業早れがり一等(日 一部 一部



聖症用 梅毒と體毒に効果勝れたる 梅毒性神經痛、機和潜伏梅毒、 先天梅毒潜伏梅毒、 先天梅毒

智器部間 本 舖 東 角 和 食此 藤井 得三

マ全國各築店にあり△

性化腺性疾患の豫防ア治療。

本 四 十 八 四 日 分 日 分 分 日 分 分 海花の八八〇五番店の五番店

● / 百日せき又ははしか

○/たんにて常にゴホンゴホンと機む人 ○/せき類に出で夜中オチオチ眠れぬ人 ○/施行感冒より起るたんせきの人 ○/施行感冒より起るたんせきの人 ・ つ/肺病にて常に力なきせき出る人 ●/百円せき又ははしかせきの小兒 ◎/音聲のかれ及は咽喉の痛む人

●/たん臭氣を帯び時を

性疾患、丹毒其他化膿性疾患に對す一、從來的確なる治療劑なかりし淋菌冒、肺炎等の豫防的處置に好適す。 門家の文献に詳なり。へか 勤する 新化学療法剤 了事化膿症に (女献進呈) 世族患に對するからし淋菌



(日曜火)

てゐないわ。ジョージ、 あなた何とかして三千圓 をその人に貸してやつて くれない? そりや…そりや……一 高 そりや…そりや……ー
す、考へて見ねばならん
な。僕はまあ騰揚な方だ
だがその人がどんな人間
かを考へねばならん……
君の友人には貸されない
……それは僕が嫉妬して
ゐるからだ。だが君みた
いな朝巧な人間がそれく
らゐの金を使ふのなら問 わ。ジョージ、 「はい」「幾月」 「五ケ月」 「五ケ月」 「はい、では一寸廊下でお り廊下に立つてまたされた よくもこのやらに病人があ ものだと思ふ位、おびた だしい人だ、それがみな笑 ひを忘れた額で默然と椅子 に腰掛けてゐた。

を察が終つてから、私は を察が終つてから、私は を見くないやらですね、大 だ良くないやらですね、大 だ良くないやらですね、大 がま 今充分用心しない。

用心しないととりか で良くはないかと思 が良くはないかと思

私はぎよつとした。助か を正直なところ感じないで を正直なところ感じないで 人工流産の を言ひ んなにして 出さ ときいた。 「人工流産し 「外にはなにもいはなかつ がれんと言つたより

かの手でつくらねばならぬ 人間らしい顔で世の中を歩くためにはやはりどうして も先づあざむき得ない自分 と言ふものをなつとくさせ なければならない。下宿に どほさ 費用だけでも

△內外經濟情報(十二月號) (日滿實菜協會滿洲支部 十五錢) (國通、十三銭) (國通、十三銭)

展情報を表するでは、 は一年の に一年の 霉を去り・血壓も様や 本間を含む民族な配類を動れた結果、最大極端の治療のため。一

◆龍角散の適應容態書◆

家庭で安心しながら 治せる驅梅法 例を知つてゐるでせう。

をしてまたこうした人々は、「何等があれば、 であた、め、アメライ連に陷ったとの。 が輝れる、映出物がする一等と問連った考へ がなり、東面に現はれず少と問連った考へ であた。全く現今の椒森は性質が悪く である。といるまも御でといるまも御です。 ではなった。 ではなり、東面に現はれず少ソーへ で数するの。 も一人や二人は必ずその を一人や二人は必ずその を一人で二人は必ずその を一人で二人は必ずその を一人で二人は必ずその を一人で二人は必ずその を一人で二人は必ずその を一人で二人は必ずその

連仲町、川柳大陸社棚堰の人々の集ひ大陸(十二月號)

原物を表して、一般である。



には名薬龍角散の認識を前提と致します。 の警報が出ました。例年の姉く純ら 今年は寒氣が迅い 嚴しい!

家庭藥です。銃後の覺悟は保健第一、それ そくの急性慢性に缺くべからざる國民的の 無比で効果の迷い龍角散はたんせき、ぜん

藝懸賞 募集 だものね、それでいくんだってやつばり何かにたよられ 「そんなこと許し

すわ……」 「後悔してるでせう」 「ひゝえ、みんなしかた。

憎む氣にもなるでせ

時には」 「いゝえ、わたし一生涯、 もなたを尊敬し、慕ひつゝ 生きて行けるわ、でもたっ れ、こんなにしてする結婚 が不安なの、でも努力しよ

には更に長い努力

0

S.T.

者年中も者年壯めれ切び言





相承けて二十二年間窓間の一地であります。かくて寛永地であります。かくて寛永地であります。かくて寛永地であります。かくて寛永地であります。かくて寛永地であります。かくて寛永地であります。

元 私は水戸人でありますから、私自身を顧みて水戸學 イ ち、私自身を顧みて水戸學 く判断し得るのであります 大義の下に莞爾として血 大義の下に莞爾として血 土土、さては五・一五事件 七土、さては五・一五事件

要 徳は孤ならず必ず隣りありで、あの兇變後と雖も、お上の貸下金や鹽の賣上金 であるのであります。當局 てあるのであります。當局 であるのであります。當局 であるのであります。當局 であるのであります。當局 であるのであります。

軍秀忠に仕へて早くより一家を成し慶長十六年長政の逝去と共に、亡父退際料の地をば興へられてゐましたが、大阪夏冬の兩陣に於てが、大阪夏冬の兩陣に於てが、大阪夏冬の兩陣に於てが、大阪夏冬の兩陣に於て

の先

二十二年の生活を營ん、笠間でその幼年期をてゐます。その他の義の他の義

人々の難儀を救

る、私自身と ないありますか

るのであります。 にの期に臨んで傷けまいと にの期に臨んで傷けまいと になってあります。

团

て殊動を樹てました爲め、 原役の際幸長は東軍に屬し 原役の際幸長は東軍に屬し 原役の際幸長は東軍に屬し 原役の際幸長は東軍に屬し

は大概想像はつくと思ひま に大概想像はつくと思ひま は大概想像はつくと思ひま

か今弟たる長晟がその後を 然るに幸長、子なきが爲 然るに幸長、子なきが爲

た水戸の氣風

萬兩を悉く皆投け出してパ

藝及び備後半部の四十二ぎました。元和五年には

てゐたと見るべきでせ**う。** 然水戸の思想的影響を受け

れたのでありますから、當れたのでありますから、當れたのでありますから、當常は水戸を離れて西へ四里の笠間城に居られたのでありますから、當れたのでありますから、當れたのでありますがら、當れたのでありますが

光圀公が大

大日本史の編纂

家の歴史即ち水戸學の影響水の歴史即ち水戸學の影響

兀祿快擧を 助う觀る

陸軍步兵大佐 谷萩那華雄

扱て、凡そ事の成るのは 決して成るの日に成るので がら深い根強い原因がある のであります。然り、赤穂 のであります。然り、赤穂 のであります。然り、赤穂 のであります。 佐頭長短がその後か た彼の長男又市郎改 た彼の長男又市郎改 た彼の長男又市郎改 そして長直の次

から、米女正長重が常陸笠 に到る迄四代九十一年でありますが、その間第一代第一二代二十二年間常陸の國第一代第一十九七十二年間常陸の國空 に地たる水戸には、賴房卿に たっで光圀公が居られたに 東大いで光圀公が居られたに 東東しまして。 一例を申しますならば、 の新田を興し、又治海の鹽 の新田を興し、又治海の鹽 の新田を興し、又治海の鹽 民の生活は豐かでありましかくて藩の收入は増加し人

大宰春台は『赤穂は富國大宰春台は『赤穂は富國大宰春台は『赤穂は青っぱの君を欣戴するや一世に非ず。』と申して居りますが、實に其の通りで、かくて恒産ある人民が恒心を抱くやうになつたのは、蓋し富然のことでありませう。

派であつた。又藩主は多く下之を倣つて精神教育は立下之を倣つて精神教育は立 の論語の研究は盛んでありを好み諷誦倦まず」とあり

滞ながら風教大いに振ひ、 その結果斯くの如く義人烈 土が輩出したのであります 即ち儒教普及の結果と見る べきでありませう。

日 程 (大阪) 原の 原文 (大阪) 原の 原文 (東京) 東京 (東

(型)</li の人影響は、 ての 見強十 四塵素行先生を聘したの四塵素行先生を聘した。第二元輝を添へました。第二

られてゐたのでありますがなる迄十年間赤穗に貶謫せいが八歳の時から十七歳に

兵學であります。即ち經世 兵學であります。即ち經世 の學と擬亂の學であります の學と擬亂の學であります。 大陸の快舉が形而上形而下 大陸の快舉が形面上形面下

| 海用金全部、

取は本年の初夏山東省曲 中の孔子廟に詣で、孔子七十七代の孫孔徳武氏に會ひ 支那は儒教の元祖だが今は その面影すら幾つてゐない 家ろ日本が本場となつてし まつた。真の儒教を知らん と欲せば日本に來るがよい と語りました所、氏は呵々 と禁せられ、全くその通り だ、と云つてをりました。

時半東京清一十三日河内襲=関東青、村田日午前九時度東京清十五日十四日午前九時度東發=十五日十四日午前九時度東發=十五日十四日午前九時度東發=

衞 生



斯らして治し 膚病を

尚ほ快方せずる困りの方は一刻も早く本薬をお試しあれる元来皮膚病はなかなか治り難い病氣で、此れまで種々手を盗して

◆頒藥御希望の方へ◆

Ŧ

六

に

道戻りして匍匐しながら戦 でつと離脱し終つた敵陣へ でのをが 見えない 「足 立」 「足立」と低く呼びながら でながら

ti

間

八月十八日午後十一時動情 「保を命ぜられた長谷部 「保藤一等兵を律ひっ行つて まあります」の挨拶も力強 さんります」の挨拶も力強 と近、行物の閣夜を幸ひ夜をこ

大型 はいひながら耐くられない。 はいひながら耐くに変異をご斥候は豪贈 と二斥候は巧みに敵弾をさる。 はいひながら耐くしたとし、がある、一歩動けば死たと 撃が開始された、独に存を と足がある。 一歩展をごと対は浦上等長 い時刻も漸く終つた「よし かっとし がある、一歩動けば死たと 撃が開始された、敬に存を と足がある、一歩動けば死たと 撃が開始された、敬に存を たた型 はいひながら耐くにして本 自力強 にも十六時間に互つて耐く けて急く、ふと目浦上等長 音 に 毒虫の要撃をご斥候は豪贈 と二斥候ほ巧みに敵弾をさ に 毒虫の要撃をご斥候は豪贈 と二斥候ほ巧みに敵弾をさ たた たちょうなり

第字の皇演奏は泰融を謝拠する歌は沈殿、野縣・派師 第次に合せ其日々へ賢旺ある歌郷師が野歌を動物のは観 近近しまするので、一般製版には販野致して即りませ んから、流演が希望の方は俳歌館でら得早地で行論な を対しまするので、一般製版には販野致して即りませ を表するので、一般製版には販野致して即りませ のから、流演が希望の方は俳歌館でら得早地で行論な を表するので、一般製版には販野致して即りませ

(申込匠) 宮 = PQ-K **六一** 惠 大二四一

畑

大下宇陀兒

香香 ◎感處 錄附圖地-新、地域重通の資産の開発し、事態の推移、金種の速度を推察するに足る、新作戦に、長期強酸に、日本国民の機の可服用が、地域重複値から、向は海南達まで、友婦の戦闘なる地国に、皇東活躍の跡を二自瞭然たらしめたるもの、金庫の占領月日戦局の進展、事態の推移を記入し、時局の現在及び将來を示す重要地 を知ら 田代光 筆 地の朝霊跡 潮五郎 大戦の進行が大戦の進行が 近衛女麿 寄せ書作 容辰治郎 神皇正統 問題 問わ 中村孝也抄 日常の常識を問答式にして分りよく 手品、寸劇、漫曲名交句、考へ物等々、愉快で戦地の慰問後には是非必要! 小説をり鶴七変 並に月

た女と手に手を取り夫婦 と無の道行をやつて宿泊の金五千餘個を持つて惚 無取りで東京、静岡、大

とする 満洲岡書館 協會は、

戦に明るい新年を迎へて敬敬様に心得自重して興亜聖ぬ様に心得自重して興亜聖の様に心得自重して興亜聖の様に心得自重して興亜聖の様に心勢しであ自職自被の

市民も共に

しませう

日満通じて始めてのもの

新京博物館の異彩

日語教育統制

圖書調查會設置

同靈時委員被仰付(各通) 同靈時委員被仰付(各通) 同靈時委員被仰付

殉職仲山

警佐に

ホッケー快勝

得は次の通りに保達は

絶て會・靈・四・止惑形廻・もや位る止な深 對少へ・塔・方・めを式禮・のう、べめいく に數の・の・拜・ま及的に・でな特くたけ立。 はすやらなものはいたるもの、他に迷った。

れたもの、或は不具者となって退官した人等に報ゆるで、即ちこの公務死傷者子た、即ちこの公務死傷者子た、即ちの公務死傷者子

「福岡國通」青々哈爾、

17つで一丸 などがそれく 強起人を出 筋和會、 態よ成立の機運にを ・ 態は成立の機運にを

會を開催、大いに民知向上時から民生部講堂で創立總

張化と實踐部との法

實踐部參事兼實践科長 補實踐部參事兼企畫局第二 科長

滿鐵辭令日前

年記を行つた所小關は友人 である朝日通八三鈴木方居 住五十嵐満 Cニミ て來たもので、四道街署で 同署では早速犯人を押送し 小登一郎 (二六) の兩名 に入れて置いた千圓入財布ケットを探つてみると確か

取調を行

類き天け 温い 類の 筆せ等のらの

女子社員を募る

女葛藤

合に振られ

金続り

四人

0

男

悪錢は身につかず

に横取さる

を秘めて地底出来の所に眠 で秘めて地底出来の所に眠 でなたのを二年程前海拉 でなたのを二年程前海拉 公務死傷者子女に 修學費を給代 は「それ程貴重なものならられを聞いた川口同省次長 て居り、政府では目下全力 の根本的改革に依る國防力 の表實を期す滿洲國民總服 受制は將に實施されんとし と寄贈して來た譯である、完の便に供して戴きたい」 されてゐるが、更に學校をを學げてこれが準備に忙殺 のとし國務總理大臣が必要しなつてゐる等の人等は官吏に進するも一貸與の特典 通じて日本同様生徒學生に 軍事教官配屬 滿系男子學校へ

てその事務事項中會籍整理

他の事務は絶 會實踐部聯協科長 命實踐部參事 元良

清

⑨雅芬と共に王さんは街へ を相手に遊興、七時牛

宗・上 無温 倘

が財布は無し 日午後四時頃歌樂地妓館同 日午後四時頃歌樂地妓館同 日午後四時頃歌樂地妓館同 氣前は見せた



お眼鏡も美貌の要件 豐富に収揃へて御座います清眼堂には最新流行の株を チした株の形、 ショのではます 院院院科科科 色、太さに依りまし 要するにお顔にマ 店の鏡眼双と鏡眼



抵抗する匪團と猛烈な拳銃 職を交へてその一名を倒す ことが出來たが、不幸匪彈 は墜佐の大腿部右腹部を貫 が出來たが、不幸匪彈 匪賊三名が潜伏してゐる く考慮中である、 東南十キロ頭道溝大浴公 情報を得るや直ちに 十一日午後五時中より見玉 判の下に舉行されたが新商公園氷球場に於て中島氏審

△最初双方同等の試合を進 めクロステームを展開して接戦を豫想されたが一 に接戦を豫想されたが一 を示しこの際に乗じて元 を示しこの際に乗じて元 を示しての際に乗じて元 を示しての際に乗じて元 を示して、本 新商14

て着實に五點をあげて勝 な動きに勝敗の分岐があ な動きに勝敗の分岐があ な動きに勝敗の分岐があ な動きに勝敗の分岐があ

中島少佐赴任

事高 務級

用文

品專門店

電話(3)ニー六五・二八四六

+

七五 年年 り度 A

布所本店

店員至急募集一、年齢十七、八歳より三十歳迄一、年齢十七、八歳より三十歳迄(但し内地人男子に限る) 右賣り度し 3. 3 三七年ダットサントラツク三八年フォード 一二一吋 自動車賣物 京東 條通り 電 東 五の九の來

右は町會役員の手許に用意致しありますから町内の日本人各世帯主は(但軍人軍廳を除く)世常三名及け糯米版賣業者又は餅製造業者へ十二月十五日限りけ糯米版賣業者又は餅製造業者へ十二月十五日限りけ糯米版賣業者又は餅製造業者へ十二月十五日限りけ糯米版賣業者又は餅製造業者へ十二月十五日限りけ糯米版賣業者又は餅製造業者へ十二月十五日限りけ糯米版賣業者又は餅製造業者のよみに限り千八日迄と

本人御來社相成度

男子事務員 年齢世成迄 數名、女子事務員 年齢世五歳迄數名、女子事務員 年齢世五歳迄數名 IE 月 又は餅購入申込書

當事務所を御利用下さい 石塚建築事 Ξ 五三

は十日夜泰天新京對抗試合 工所員皆川喜久治二一〇同市内尾上町四丁目四皆川鐵 として出場、散會後 建築設計監督及施工

迅速、叮嚀新興設計な主眼ごする

般

八)劉玉華 強に就かんとして同カフェ 強に就かんとして同カフェ 全に就かんとして同カフェ 金に就かんとして同カフェ

れ同夜 つたニセ刑事五名▲八里堡村 一大院農業王盛吉(二七)は 本院農業王盛吉(二七)は 本院農業王盛吉(二七)は 本になりすまして妓館を片 で、大阪農業王盛吉(二七)は 本になりすまして妓館を片 で、大大阪農業王盛吉(二七)は 本になりすまして妓館を片 で、大結果、彼等はニセ刑事 は 事になりすまして妓館を片 で、女館、飲食店 に の常智犯で、妓館、飲食店 に が会と満り、 の常智犯で、妓館、飲食店 に が会と がった結果、彼等はニセ刑事 は の常智犯で、妓館、飲食店 に が会と がった。 の常智犯で、女館、、飲食店 に が会と がった。 の常智犯で、女館、、飲食店 に の常智犯で、女館、、飲食店 に の常智犯で、女館、、飲食店 に が会と がった。 の常智犯で、女館、、飲食店 に の常智の、 の常智の、 の常智の、 の常智の、 の常智の、 の常と のない。 のない。

に依嘱し得ることに 検索の ニセ刑事

して何れも總檢束さ で甘き夢物語寸景を の一賽風紀取締檢歩 で甘き夢物語寸景を

興安東省喜扎 原附近の計 選げた同族白狼警察分駐所 遂げた同族白狼警察分駐所 を中山軍一警佐(三二)に 長仲山軍一警佐(三二)に 長中山軍一警佐(三二)に

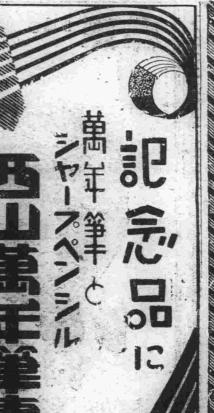
の功績を全滅に表彰すべの功績を全滅に表彰すべ

命實錢部實踐科長 總務部參事 選 內 作 新 總務部參事 選 內 作 新

謹思

銃後の結びに手腕を振ひ、 流き、高級班員として前線 水らく陽東軍報道班に籍を 道班中島○三少佐は去る一民間にも馴染みの深い軍報

京菱、十五日大連出帆の町 京菱、十五日大連出帆の町 京菱、十五日大連出帆の町 赴任の途につくこ



總務課人事係

廣告の御用命は

電話(3)三三〇〇番

P

街

六〇九

胡同

窠

内

電

使ぶのに困つてゐる

た概きを、背中へ消での客たちのひそ

TEL 35153

か、びくりと動かうとしか、びくりと動かうとしれたけは、驚を呑んだそれだけは、驚を呑んだる一杯の代位拂へさうをもらつと見た彼女のをちらつと見た彼女の



診休後午日祭曜日 非にり限の此は患急

今辨慶整骨院 滿鉄病院東正門前 日本タイプライター株式會社

無の純和漢薬中毒副作用絶

1-上地·洋服地·法 迅速、低廉 六三 地 五洋 1 智行

豐那富服 階二ルビ陽青目丁三町祝院本 番 八 七 八 四 (3) 話 電 階ールビ安興路大安興 院 分

東三條通開第三七〇一番 廣場南入滿鐵病院東側 通常3三七〇一番

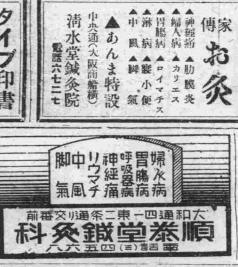
レントゲン

10代書で表現の 電町二ノ一八〇 3六〇四一 電前京人船町電3四五〇一 電前京人船町電3四五〇一 高前京人船町電3四五〇一 高前京人船町電3四五〇一 高前京人船町電3四五〇一 高前京人船町電3四五〇一 高前京人船町電3四五〇一

話

三友社

新に、一世界では、一世界には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀には、一世紀



▲あんま特設

清水堂鍼灸院

電話3五二三六番

部融金社益共滿日 嚴守





クに依る

堂 電る。五二八八五 引が毛と

岩見電話店 永樂町三ノーーノ四 (八島小學校前) 電話3・3137番 意温泉 ない 川五五

高價買人 密秘期長・時即融金 るま用件よ品け業相側の試電 店話電本族(は方の用導)



資別タイプライター○五號 午前•午後•夜間 規則書進呈 タイピスト張 **第四四五三**

カメラ修理 数寫真機店



おけ格の酒蔵 江松竹梅 電③五三六七番銀座キネマ前 一月東門 お茶道具は お茶道具は

٤



特效薬安心散場があり御試業を公立 で見り上左記へ電話乞 求貸家空室 古光堂療院 電三。四七九四 灸



號四九路經大京新 卷三六一二3話書

滑板

飨裝



古本買入 古きを賣って 新智識を! 嚴松堂古典部 一條通一六 第 (3) 第三 五八 五四 五八

年齢十七歳より 希望者は履歴書持多本人來談ありたし 經痛 事店 務 泰 廿三歳迄の内地人を望む 員員 百 むとすぐきく 募 貨 電話 3 六



西越 天魚 式樣油醬的野洲満